



かりがね



【目指す学校像】
活力が満ち、
さわやかで
心なごむ学校

生徒数 145 名 (1 年生 49 名 2 年生 47 名 3 年生 49 名)

令和 8 年 4 月 8 日

『前進する 1 年に』

校 長 武 井 理

保護者の皆さま、お子様のご入学並びにご進級、誠におめでとうございます。心よりお祝いを申し上げます。今年度の芳野中学校は、新 1 年生 49 名を迎え、全校生徒 145 名でスタートします。今年度も、教職員一丸となって教育活動に取り組んでまいります。よろしくお願いいたします。

さて、入学式・始業式において、新しい学校生活の始まりにあたり、生徒の皆さんに、この 1 年間で大切にしてほしいことを 2 点お話ししました。学校だより 4 月号ではその内容についてお伝えします。

1 「前進する一年に」

令和 8 年は「午年（うまどし）」です。午年（うまどし）は、勢いよく大地を駆け抜ける馬の姿から「前進」や「飛躍」を象徴する年とされています。新しい挑戦や飛躍に最適な一年とされています。中学校の新たな舞台でも、自分の夢や目標に向かって、力強く一步を踏み出し、自分の可能性を大きく広げましょう。併せて、中学校生活では、他の人と比較をするのではなく、自分のペースで走り抜けていってほしいと思います。生徒の皆さんの前向きな挑戦を心から応援しています。

2 「時・場・礼を意識して毎日生活」

「時・場・礼」という言葉を学校ではよく聞きます。これは、哲学者の森 信三（もりのぶぞう）氏が唱えた「時を守り、場を浄（きよ）め、礼を正す」という言葉を短くしたものです。この言葉には、次のような具体的な教えが込められています。

- 時を守り：時間や期限を守る。相手の時間を尊重し、信頼を築く基本です。
- 場を浄め：掃除、整理整頓をする。自分の身の回りを整えることで、心を磨き気付く人になります。
- 礼を正す：挨拶・返事をする。相手に心を開き、良好な人間関係を作る第一歩になります。

令和 8 年度の芳野中学校の生活では、「時・場・礼」を徹底し、みんなで成長していきましょう。

保護者や地域の皆さまには、今後とも芳野中学校の教育活動に、ご理解・ご協力の程、お願い申し上げます。

